

第20回 銀河ホール地域演劇祭

●期日 平成24年9月1日(土)・2日(日)

●場所 西和賀町文化創造館 銀河ホール

9月1日

- 開会行事 16:00~
- シニア劇団ぎんが(西和賀町)
「さよならニッポンごきげんよう」
16:15~
- 劇団ぶどう座(西和賀町)
「結婚の申込」19:00~

9月2日

- 京浜協同劇団(川崎市)
「臨界幻想」13:00~



- 入場料金 / 1日券 大人 700円(当日1,000円) / 小中高生300円(当日500円)
両日共通券 大人1,000円 / 小中高生500円
- 主催 / 第20回銀河ホール地域演劇祭実行委員会
- 後援 / 西和賀町芸術文化協会 西和賀町観光協会 西和賀町教育委員会

この事業は岩手県文化振興基金の助成を受けて実施しています。

I am proud to be part of nishiwagatown. 723

第20回

銀河ホール—ワールド演劇祭

9月1日(土) 16:15~

★シニア劇団ぎんが(西和賀町)

「さよならニッポンごきげんよう」

作/高橋 純 演出/中野 健

今の世の中、高齢者にとって暮らしにくい。税金や保険料は高くなる一方で年金や医療福祉サービスは削られる。おまけに何も無い山奥の村とあっては、汗水たらして育てた子どもたちも盆正月にさえ帰ってこない有り様。こんなニッポンの現状に見切りをつけて、いっそ独立して年寄りだけの国を作ろうかと思いついたまでは良かったが、結局はお金がないため夢物語に終わってしまう。

そんなあきらめムード漂う高齢者たちの前に1人の怪しげな男が現れた。言葉巧みに高齢者の関心を引き、なんと、夢物語とあきらめていた高齢者だけの独立国の建国を持ちかける。最大の懸案であった資金源を確保する方策とは……。

今回も随所に懐メロの替え歌が挿入され、楽しい歌入芝居となっています。どうぞお楽しみください。



9月1日(土) 19:00~

★劇団ぶどう座(西和賀町)

「結婚の申込」

作/チャーホフ 翻訳/伊賀山昌三 演出/原田一樹



第1回全国青年大会の舞台

35歳で独身の鳶吉は、羽織袴で隣の地主の娘・とみえに結婚を申し込みに秩父家を訪ねるが、ひよんなことから意見のすれ違いが生じ、お互いの土地やら何やらで罵り合いが始まる。さらに父親とのいさかいに加えて、拳句の果てに鳶吉は身体に不調をきたし失神してしまう。せっかくの結婚の申込みはいかなることになるか。

ロシアの作家・チャーホフの一幕ものの笑劇で、この作品を秋田弁に翻訳したものです(伊賀山昌三氏)。どこの国でも起こり得る日常の風景があります。

この作品は、ぶどう座が1952年の第1回全国青年大会に参加・上演した際に最優秀賞を受賞。故・越後谷栄二さんの演技は今でも語り草になっている。

劇団主宰者・川村光夫さんを中心として本格的に演劇に取り組む転機となった作品です。今回は、ぶどう座と長年の交流がある東京の劇団東演との共演。どうぞお楽しみください。

9月2日(日) 13:00~

★京浜協同劇団(川崎市)

「臨界幻想」

作/ふじた あさや 演出/内田 勉

「原発はいらない」

30年前の警告は現実のものとなった!

ひとりの青年が死んだ。速水暁生26歳。死因は心臓マヒ。希望に燃えて原子力発電所に就職したのは7年前だった。

母親をはじめ、周りの人々は病死と信じていた。暁生と結婚を約束していた恋人も、新しい人生を歩み始めようとしていた。

そこへ、労働者被曝の調査に訪れた人たちがいた。しかし、母親は「放射能とは関係ない!」と否定し続けた。

ところが、親会社から1千万円の金が届けられる。なぜ?。子会社の社員の病死になぜこんな大金が?。母親はじっとしていられなくなり、必死に真相を探り始めた。すると、思わぬ事実が浮かび上がってくるのだった…。

母親の息子への愛情が 原発の虚構と 安全神話を暴き出す。



入場券取扱い
(8月10日~)

- 銀河ホール
- 味処いろいろ
- 湯夢プラザ観光案内所
- サロン・ド愛
- 珈琲やまもと
- ヤマザキショップ
- 葉郷いこいの家
- 丑の湯
- みなみかわ商店
- 佐井商店
- 六戸商店
- 里の恵
- 猿橋商店
- 丸善商店
- 北村商店